

足場吊り用チェーン GATチェーン取扱説明書

1.はじめに

- ◆ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよくご理解頂いたうえで、ご使用ください。
また、必要と思われる部署や現場には必ず配布し、必要な場合にはいつでも参照できるようにしておいてください。
- ◆この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の2段階に区分しています。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いと考えられる場合。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が考えられる場合。

◆尚、『注意』に記載した事項でも、取扱い方法によっては、『危険』と同じ状況になる場合があります。

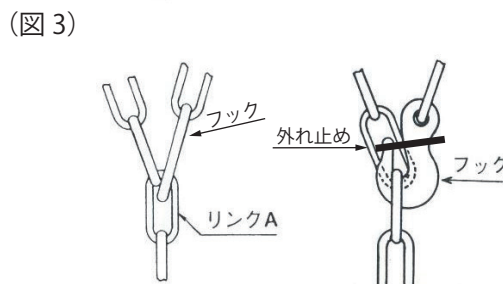
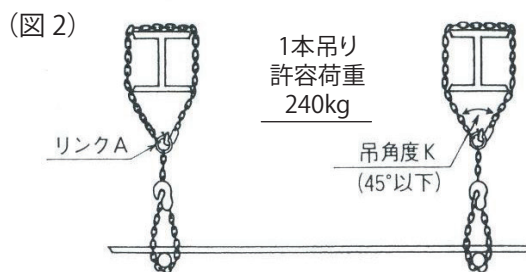
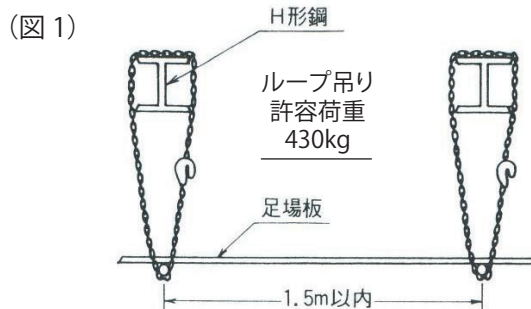
2.ご使用にあたって

⚠ 危険

- ◆玉掛け用及びスリングチェーンとしては絶対に使用しないでください。
- ◆許容荷重を確認し、許容荷重以下で使用してください。許容荷重を超えて使用しますと事故の原因となります。また衝撃荷重を掛けないでください。
- ◆使用前点検で外観上不具合や各部に異常がないか調べてください。外観上不具合や各部の異常がある場合はご使用にならないでください。
点検要領及び廃棄基準については「GATチェーン 点検要領及び廃棄基準」を参照してください。
- ◆外れ止めは消耗品です。外れ止めを交換する場合、「外れ止めゴム交換要領書」に従い交換を行ってください。
また、弊社が選定したもの以外はご使用にならないでください。
- ◆強度低下及び安全の低下を防止する為、下記の様な改造は行わないでください。
1. 機械加工等の追加、改造 2. 溶接 3. 熱処理 4. めっき処理 等
- ◆想定していない下記の様な箇所で使用しないでください。
1. 高温雰囲気(100℃以上) 2. 溶接作業周囲 3. 水中 4. 腐食性雰囲気(酸、アルカリ等) 5. 寒冷地で衝撃のかかる箇所 等
- ◆ねじれたりキンクしたままで使用しないでください。
- ◆使用方法については下記の図に基づき使用してください。

【正しい使い方】

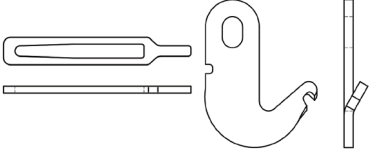
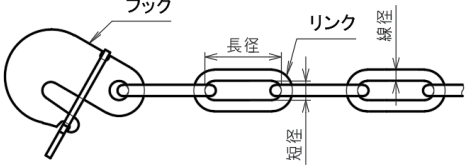
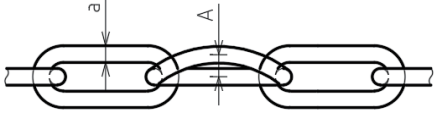
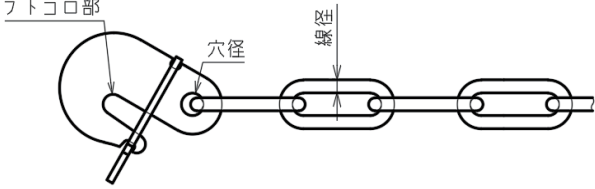

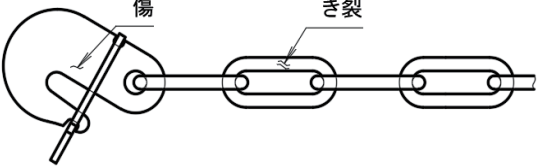
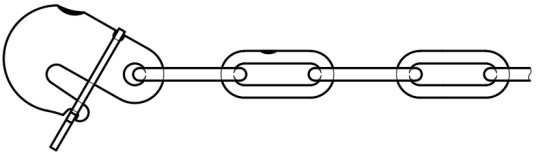
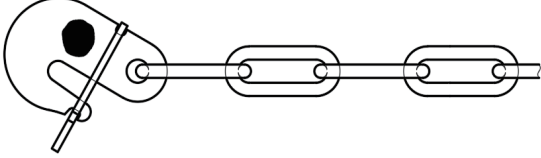
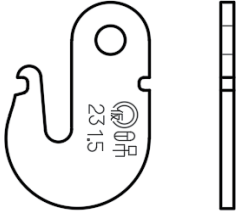
- GATチェーンは図1の様にH型鋼と足場板支え桁と輪形に使用することが最も安全です。また、なるべく余裕をみて長いチェーンをご使用ください。
- チェーンが短く、図2の様に使用した場合は、リンクAに横引荷重が働きますので、安全率が低下します。
この方法でやむを得ずご使用の場合は、必ず吊角度Kを45度以下になるようにご注意ください。
- ロックしている外れ止めを開放し、チェーン(リンク)にフックを掛ける場合は、正しく掛かっているかをご確認ください。はまり方が不十分ですと、安全率が低下するので、フックのフトコロまで完全に掛けてください。(図3)
- フックからチェーン(リンク)が外れるのを防ぐ為、外れ止めをフック切欠きに引っ掛け、ロックしてください。(図3)



⚠ 注意

- ◆コンクリート等が付着している場合は除去してご使用ください。
- ◆GATチェーンに直接ショックを与えるような使用はしないでください。
- ◆外れ止め(ゴム)の弾性力が低下する為、外れ止めに油(潤滑油等)を塗布しないでください。

GATチェーン 点検要領及び廃棄基準

点検要領	点検頻度	点検箇所	点検方法	廃棄基準
①変形 	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	フック 外れ止め	目視	<ul style="list-style-type: none"> 元の形状より著しく変形しているもの。 (外れ止めがフック切欠きに引っ掛けられないもの)
	<input type="checkbox"/> 定期点検	リンク	計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> 長径が42mmを超えたもの。 短径が9.0mm未満のもの。 線径が著しく変形しているもの。
	<input type="checkbox"/> 定期点検	リンク	計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> 変形が太さ以上 ($A \geq a$) のもの。
②摩耗 	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	フック リンク	目視	<ul style="list-style-type: none"> 穴部が著しく摩耗しているもの。 フトコロ部が著しく摩耗しているもの。 線径が著しく摩耗しているもの。
	<input type="checkbox"/> 定期点検	リンク	計測機器 (ノギス等)	<ul style="list-style-type: none"> 線径が5.7mm未満のもの。
③傷・き裂 	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	全体	目視	<ul style="list-style-type: none"> 傷、き裂があるもの。 (外れ止めのゴムに傷、き裂があるもの。)
④アークストライク 	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	フック リンク	目視	<ul style="list-style-type: none"> アークストライクがあるもの <p>※アークストライクとは、溶接を開始する際などに、溶接棒を不用意に接触させてしまい、アークを発生させることによって生じるもの。</p>
⑤腐食・さび 	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	全体	目視 ブラシ	<ul style="list-style-type: none"> 使用上有害な腐食、さびがあるもの。 外れ止めが劣化しているもの。
⑥刻印 	<input type="checkbox"/> 日常点検 <input type="checkbox"/> 定期点検	フック	目視	<ul style="list-style-type: none"> 仮設マーク、(T)、吊、ロット番号、呼びが読み取れないもの。

※使用開始日より10年を超えるものは、交換を推奨します。 ※外れ止めに関しては「外れ止めゴム交換要領書」に従い、交換を行ってください。

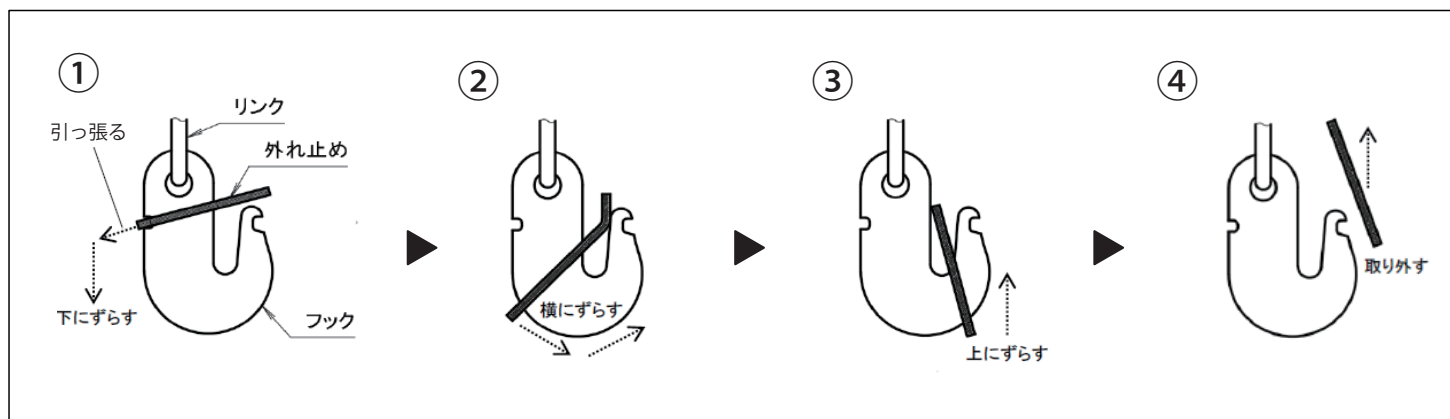
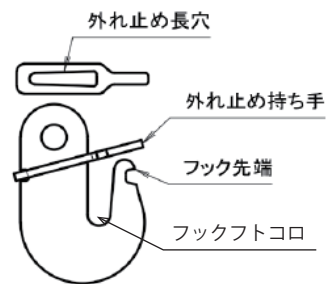
GATチェーン 外れ止めゴム交換要領書

GATチェーンの外れ止めを交換する場合は次の要領で行ってください。

◆取り外し

GATチェーンフックから古い外れ止めを取り外します。

- ① 外れ止め持ち手の反対を引っ張り、下へずらす
- ② フック外周に沿って横にずらす
- ③ フック先端がある上へずらす
- ④ 取り外し完了



◆取り付け

GATチェーンフックに新しい外れ止めを取り付けます。【注意】外れ止めの向きに注意してください。

- ① 外れ止め持ち手の反対側を持ち、外れ止め持ち手側がフックフトコロに入るよう、フック先端に外れ止め長穴を通す
- ② フック外周に沿って横にずらす
- ③ フック外周に沿って上にずらす
- ④ 持ち手を引っ張り、フック切欠きにはめて取り付け完了

